

ちぎって、はって、美しき日本を後世に伝える

REIZOU HIKOSAKA Exhibition

彦坂 禮三

和紙ちぎり絵の世界



酷暑 奥久慈に生きる

2018 7.13 FRI → 8.31 FRI

平成記念美術館 ギャラリー

〔開館時間〕 10:00 - 18:00 (入場は17:30まで)

〔休館日〕 日曜日 ※8月12日～15日は夏季休館日とさせていただきます

〔観覧料〕 無料

〔主催〕 株式会社 平成建設

 平成建設



芽刈る人



承けて伝える家



惜秋 奥久慈の家



美山に暮らす

和紙ちぎり絵で描きだす、日本のふる里

彦坂禮三(ひこさか れいぞう)は、和紙ちぎり絵作家として活躍中です。制約が多く、手間のかかる制作を続け、「自然と人間の関わり合いで保たれてきた里山が代表する日本人の心のふる里、残してほしい日本の風景、和紙の素晴らしさを、一人でも多くの方にご覧いただきたい」と語ります。懐かしい風景や人物などをモチーフに、優しい記憶を描き出す表現力には驚かされます。テレビCM制作ディレクターや、絵コンテ制作、イラストレーターとして活躍しつつ、童画や墨絵などで培ったデッサン力、薄く強靱で独特の風合いを持つ和紙の種類や厚みの的確な選定力、染めて細かくちぎった和紙を下絵に合わせて丹念に貼り込む根気と丁寧な制作力。それらを合わせ、ふる里の独特の空気感や、季節を美しく再現します。精緻でありながら心打たれる彦坂禮三のちぎり絵の世界を、お楽しみください。



彦坂 禮三
REIZOU HIKOSAKA

<プロフィール>

1942年東京生まれ。テレビCM製作ディレクターを経て、イラストレーターとして活動中、観光会社のPR紙の表紙をちぎり絵での依頼を受け、ちぎり絵作家スタートとなる。

ワークショップ

2018年7月28日(土)
和紙ちぎり絵作家、彦坂禮三による
ちぎり絵体験

会場：平成記念美術館 ギャラリー
時間：①10:00～12:00 ②14:00～16:00
定員：各10組
対象：小学生以上推奨
※小さなお子様が参加する場合は保護者同伴
参加費用：3,000円

<ご予約・お問い合わせ> ☎03-3426-1103 または下記QRコードより

※開始10分前には会場へお越しください。

※参加費は、当日現金にてお支払いをお願いします。

※会場は公共交通機関をご利用ください。

※内容は変更になる場合があります。最新情報はギャラリーサイトをご確認ください。(http://www.heiseikensetu.co.jp/gallery/)



平成記念美術館 ギャラリー

[お問い合わせ] 03-3426-1103

〒156-0053 東京都世田谷区桜3-25-4

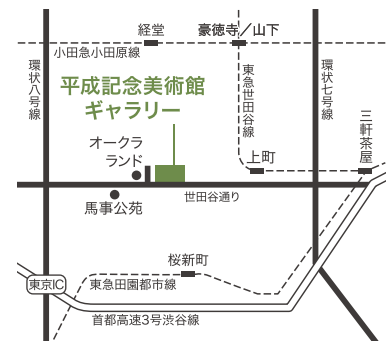
開館時間 10:00～18:00 / 観覧無料

休館日：日曜・年末年始

※8月12日～15日は夏季休館日とさせていただきます

[電車] 東急世田谷線 上町駅より徒歩10分

[バス] 渋谷駅バス停 3番乗り場「成城学園前駅西口」行
※24(東急バス/小田急バス)「大蔵ランド前」下車 徒歩1分



[次回企画展のお知らせ] ※スケジュールは予定のため、変更になる場合があります。

2018年9月7日(金)～10月9日(火)

上原利丸染色作品展
本友禅染の多様性と可能性